

自慢の産品を出荷してみませんか

(仮称)道の駅旭

農畜水産物の出荷希望者 募集期間を延長

道路利用者の休憩施設、市の農畜水産業や商工業の発展、観光立地としての魅力アップなどを目的とする道の駅。平成27年度中の開業を目指し、施設整備を進めています。

現在、道の駅への農畜水産物出荷希望者の募集を、期間を延長して受け付けています。

市内の生産者の皆さん、ぜひ自慢の産品を出荷してみませんか。

農畜水産物の出荷希望者を募集

申込期限／9月30日(火)

申し込み方法／企画政策課または農水産課、海上支所、飯岡支所にある申込用紙に必要事項を記入し、提出してください。

提出場所／企画政策課または農水産課

※申込用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

整備する道の駅って？

場所／イ地先(網戸地区、旭中央病院アクセス道路沿い)

施設概要／駐車場、トイレ、緑化スペース、情報発信コーナー、

農畜水産物直売・加工室、バイキングレストランなど

道の駅出荷Q&A

Q 道の駅で本当に野菜などは売れるの？

A 道の駅は地元産品が集まる拠点として、マスコミなどにも取り上げられ、通常の商業施設とは違った強い販売力があります。また旭市近隣の道の駅の売り上げも好調です。

Q 今は様子を見て、開業してからの出荷を検討している。

A 出荷希望の受け付けは申し込み順のため、販売スペースの状況によって開業後には受け付けできない場合もあります。

Q 出荷するメリットはなんですか？

A 自分が生産した自慢の産品に、自分で値段を決めることができるのと同時に、商品PRなどの販売工夫も可能です。消費者や生産者との交流、情報交換など、直売出荷の醍醐味を感じてもらえることが、道の駅出荷のメリットです。

問い合わせ先

企画政策課政策推進班

☎ 62・5382

平成 25 年度ダイオキシン類環境調査測定結果

調査項目	調査地点	調査日	調査結果	年平均値	基準値	単 位
大 気	旭市浄化センター	平成25年7月16日 ～23日	0.011	0.055	0.6以下	pg-TEQ/m ³
		平成26年1月 7日 ～14日	0.098			
	干潟支所	平成25年7月16日 ～23日	0.027	0.044		
		平成26年1月 7日 ～14日	0.060			
水 質	新川(干潟大橋)	平成25年7月23日	0.33		1.0以下	pg-TEQ/ℓ
土 壌	中央児童公園	平成26年3月 6日	2.8		1,000以下	pg-TEQ/g

※pg-TEQ(ピコグラム-T E Q): ピコグラムとは1兆分の1グラムのことです。

ダイオキシン類調査の測定結果

引き続き環境基準達成

ダイオキシン類による環境に対する影響への関心の高まりから、市では毎年、環境中のダイオキシン類(コプラナーPCBを含む)の濃度を把握するため、大気、水質および土壌の調査を実施しています。

いずれの調査も基準値を下回る

大気の調査は、旭市浄化センターと干潟支所でそれぞれ年2回(7月と1月に1週間)、水質の調査は新川(干潟大橋)で年1回(7月)、土壌の調査は中央児童公園で年1回(3月)行いました。その結果いずれの調査も基準値を下回り、平成25年度も環境基準を達成しました。

なお環境基準とは、人の健康の保護および生活環境の保全の上で、維持されることが望ましい基準のことをいいます。

調査を継続

本年度も同じ地点で調査を行うほか、県も水質の調査(干潟大橋・駒込堰)を行う予定です。

問い合わせ先

環境課環境政策班

☎ 62・5328